学校番号	3010

令和8年度　　芸術　　科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術Ⅰ」(光村図書)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鉛筆デッサンや水彩絵具を使った絵画表現を通して、ものの見方や考えたことを表現する力を身につけていきます。デッサンでは、形や質感をよく観察し、それを正確に描く力を養います。絵画では、色彩や絵具の扱い方など、表現の基礎を学びます。また、テーマから自由に発想し、創造的に表現する力も高めていきます。さらに様々な美術作品や友達の作品を鑑賞することで、表現の多様さに触れながら、視野を広げていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
画材や素材の特性を理解し適切に取り扱えるようになる。また色や形など造形の特徴や意味を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
自ら主題を生成し、様々な表現の良さも味わいながら創意工夫して創造的に表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
目標に向かって主体的かつ計画的に課題制作に取り組むことができる。また他者の表現を認め理解を深め合うことで感性を高め、様々な活動に活かしていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象を造形的に捉える視点を持ち、創造的に理解を深めようとしている。 ・造形の成り立ちを基本とし、表現方法を創意工夫する中で、必要な技術や制作手順を身に付けることができる。 ・目標とする表現に合わせて、適切な画材や技法を創造的に選択している。	・課題の主旨を的確に理解できる。 ・意図を持って創造的に主題を生成し、制作に取り組もうとしている。 ・様々な美術作品をのよさを味わい、造形的に思考を深めている。	・課題を通して自己表現することに創意工夫し、積極的に取り組もうとしている。 ・見通しをもって計画的に課題に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造形の基礎を学ぶ	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 授業の解説、先輩の作品鑑賞 ・私の取扱説明書 自己紹介を兼ねて自分の取扱説明書を絵や図などの視覚情報を中心に表現する。	a：芸術科美術を学ぶこととそれにまつわる基本的な表現や技法に興味関心を持ち創造的に理解している。 b：課題の意図を的確に理解し、創造的に発想や構想が出来ている。また様々な作品の良さを創造的に味わいながら鑑賞している。 c：課題内容に興味を持ち、創造的で前向きに取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 鑑賞活動の様子 作品の提出状況
		【絵画・彫刻】 ・静物デッサン① 立方体や円柱など基本形体の成り立ちを理解しながら、鉛筆デッサンに取り組む。	a：対象の形の成り立ちを理解し、画材を適切に扱うことが出来ている。 b：対象の持つ質感や色彩などの良さを味わいながら、鉛筆での表現を創意工夫している。 c：課題内容に興味を持ち、主体的に制作するよう前向きに取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の	学習活動の様子 鑑賞活動の様子 作品の提出状況
	色相環万華鏡	【デザイン】 ・コンパスと定規を使い、決められたサイズの正円を自由に美しく12分割する。 ・指定された色彩に合わせてポスターカラーを適切に混色する。 ・分割面の中をムラなく彩色していく。	a：不透明水彩絵具の特性に興味理解を示し、適切な扱い方で制作している。また色相環に基づく色彩の成り立ちを理解している。 b：造形的な美しさを考慮しながら画面分割を構想し、創造的に配色している。 c：見通しをもって計画的に制作し、課題に興味を持って主体的に取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 作品の提出状況

2学期	ペン画制作～ゼンタングル・マンダラ～	【デザイン】 ・幾何図形や動植物などの具体的なモチーフを手掛かりに画面を分割する。 ・分割面の内側にミリペンでパターン柄を描き、画面全体を埋め尽くしていく。	a：ミリペンの特性に興味理解を示し、適切な扱い方で制作している。またパターン柄が作り出す美的な良さを創造的に理解している。 b：造形的な美しさを考慮しながら画面分割を構想し、パターン柄の生み出す効果を美的に意識しながら創造的に描画している。 c：見通しをもって計画的に制作し、パターン柄の美しさを主体的に追求しながら創意工夫して取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 作品の提出状況
	風景画制作～中庭を切り取る～	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・先輩の作例や古今東西の風景画の名作を鑑賞する。 ・中庭に出て、自分が描きたい場所を選ぶ。 ・鉛筆での下描き。 ・水彩絵具による着彩。	a：風景の中の建造物の形や向き、遠近の見え方を理解している。また樹木など自然物の有機的な形を創造的に筆のタッチを使い分けて水彩表現している。 b：季節の移ろいの中で光や色彩の変化を感じ取り、美的に味わい創意工夫して表現している。 c：風景画制作に興味を持ち、下描きから彩色まで計画的、主体的に取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 鑑賞活動の様子 作品の提出状況
	空想画制作～ありえない世界の創造主になろう～	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・先輩の作例や古今東西の美術作品の中から空想画制作の参考になる作品を鑑賞する。 ・アイデアスケッチ ・各自が選んだ画材の組み合わせによる制作。	a：各自が選んだ画材の特性を創造的に味わいながら、表現したい目的に合わせて取り扱っている。また構想するにあたって美的に感じられる構図やモチーフを理解して選択している。 b：ありえない世界を表現する上で、自己のテーマを見つけだし、そこから自由かつ柔軟に発想している。また形や色彩の美しさを創造的に味わいながら表現している。 c：課題内容と他者の発想や表現にも興味を持ち、計画的・主体的に取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 鑑賞活動の様子 作品の提出状況

3学期	1年間の学びを確認	【絵画・彫刻】 ・静物デッサン② 日常的に目にするもの（体育館シューズ）の質感を描き分けるための細密デッサンに取り組む。	a：靴の構造を適切に理解している。また鉛筆での表現技法について創造的に工夫しながら制作している。 b：対象の持つ質感や色彩などの造形要素を美的に味わい思考しながら、感じ取ったことを創意工夫して表現している。また観察に基づいて充実した描写密度を感じさせている。 c：デッサン表現に興味を持ち、自ら試行錯誤して制作するよう主体的に取り組もうとしている。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 作品の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度